

廿日市の学びのインフラとしてどんなものを作っていくか、4つのグループに分かれて理想やイメージを出し合い、グループで具体的なカタチを提案しました

情報づくり

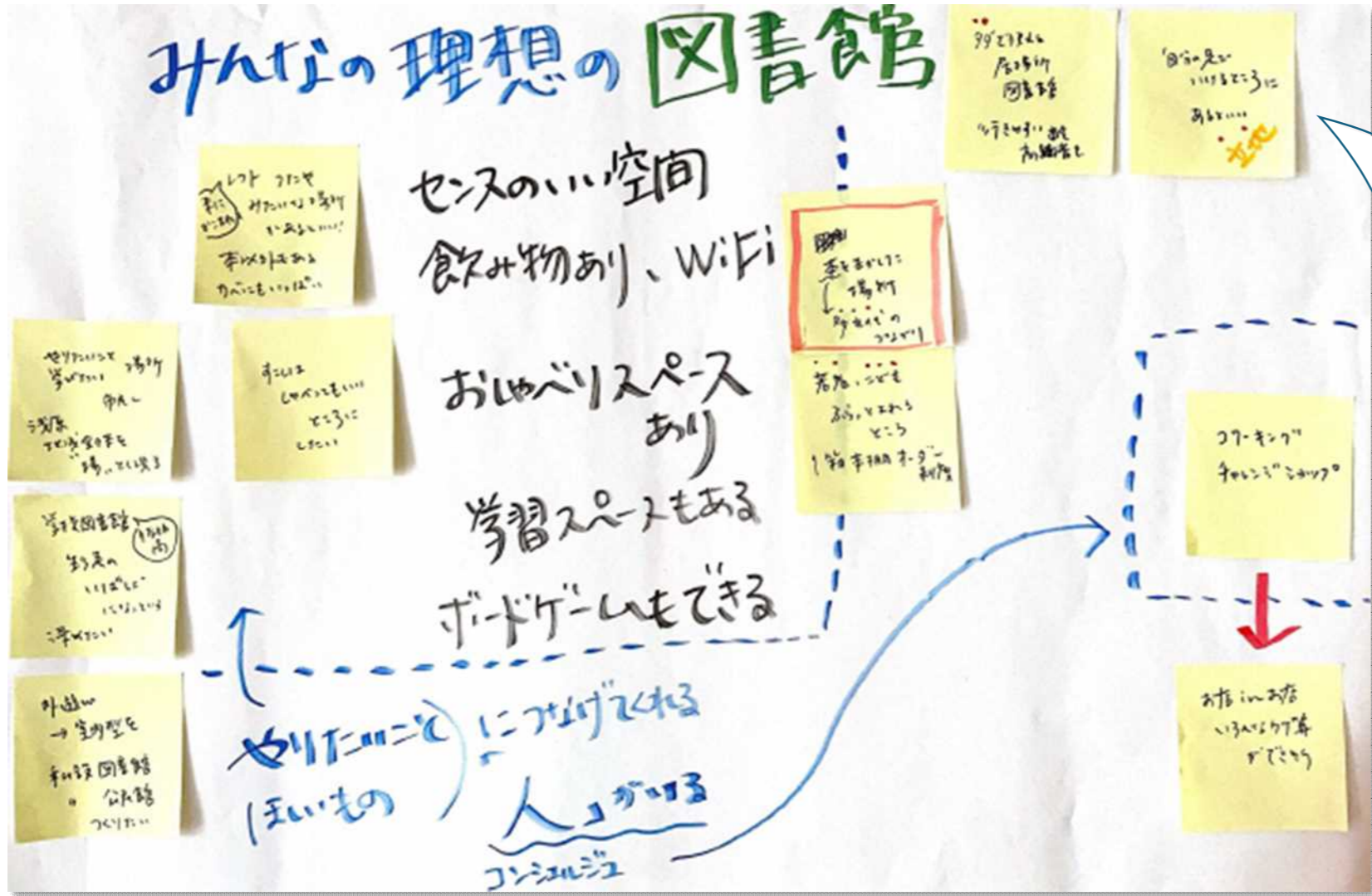
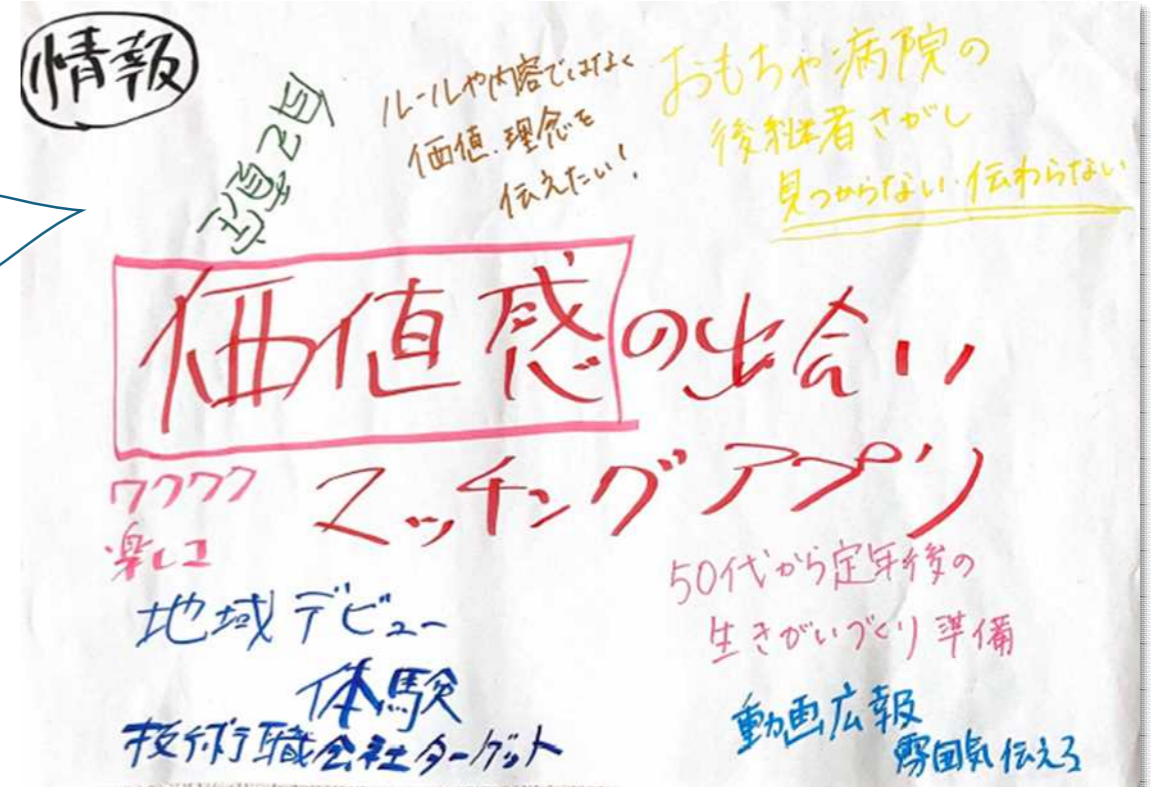
目につく／届く／
関心を寄せてくれる

私が、おもちゃ病院[※]の院長をしていて、
「後継者がなかなか見つからない」という願いをしました。

50代から定年後の生きがいがづくりの準備をしておきたい、会社によっては地域デビューする前に、いろいろな体験をさせているとか、何かしたいと思っている人たちに活動の価値を知ってもらう情報が伝わっていない。

やはり一番大事なのは、価値観の出会いをマッチングアプリで、いかに新しい方にフィットさせるか。そのためには文章とかでなくソフトや動画を使ってやる方法があるんじゃないか、というので、まとめました。

※おもちゃを治療(修理)するボランティアグループ



「みんなの理想の図書館」ということでまとめました。

まず、タダで行ける・みんなの足で行けるという立地になっている。LECTにある蔦屋書店のようなセンスのいい空間。飲み物があったり Wi-Fi があったり、おしゃべりできたり、学習スペース、ボードゲームをできるスペース。こういうところは多世代がつながって、若者・子どもなど皆さんが来れる、というところを意識している。

ここには案内するコンシェルジュさんが常駐していて、この人たちから、この空間とは別にコワーキングとかチャレンジショップが、また別であればいいな、という話も出た。

これから、いろんなお店でいろんな拡散ができそう、という話も出ました。

場所づくり
寄ってみたいくなる
空間／長居したくなる空間

廿日市の学びのインフラとしてどんなものを作っていくか、4つのグループに分かれて理想やイメージを出し合い、グループで具体的なカタチを提案しました

きっかけづくり
行きたくなる集い/
魅力的な学びや
講座のテーマ

**家に閉じこもりがちな高齢者が、健康づくりの
ために出かけるきっかけ・仕掛け?**

親和性 → 本屋と図書館の話から!
親和性
・本屋と図書館
・ラジオ体操
・太極拳

・ラジオ体操
・太極拳
・高齢者が取り組みやすい運動・イベント

場所・アクセス (近所!)
 費用・無料 (初回は無料か...) お試し 初回無料

何がきっかけ? → 誘ってくれる人、口コミ
アンテナを
はたき人が
来ると
↓
そこから広がる?
↓

取材を
うけた!
(おもしろい!)

コラボ
カーブス トランチ
ナタリーカーブス
毎日行く
(7時~) 予約

お話し
2~4人
の
さんざい

□□□
□□□

高齢化社会なので、例えば「連れ合いをなくして家に閉じこもりがちな高齢者が、健康づくりのために出かけるきっかけ・仕掛けは何か？」を前提に考えてみました。

1つは高齢者が取り組みやすい運動とかイベントは何か。具体的には、阿品公園でラジオ体操の後に太極拳というある意味で親和性のある運動をやっている。単独より親和性のあることが大事なのかなと。カーブスという女性専用フィットネスへ行けば、友達とランチや買い物もできる。

場所としては、遠方(例えば、ここから広島市内)は無理なので場所が近辺のアクセスがいいところというのが大きい。費用も無料が1番。(〇〇新聞の健康教室などより)

あとは大きかったのは誘ってくれる人の存在、口コミも大事かなと。これに行ったら今より良くなりそうという期待感が持てること。

明るく元気な気持ちになれば、という目的でこういうことを考えました。

その他
「廿日市の学びのインフラ整備
とともな(小学校)に着手しよう!
(公民館)単位? 祭りに
でこみ

①インフラ整備
市がやるべきところにあるのでは。
あつ(民間)を活用しては。

直接経験
スポーツ 体験
大谷の150km 球

間接経験
読書 X 体験

課題 (獣害対策
クマ・イシシ・シカ・カラス
→ 解決策 = 生涯学習

※課題がないと教育・学習が進んでいかない、自分たちごととして捉えられないところがある。

今回、佐伯の高校生から課題として提案いただいた「獣害対策」。

こういうものを解決していくにも、生涯学習を通してみんなで地域のまとまりの中で、学校であつたりとか公民館であつたりとか、そういうところでみんなで話し合っ解決していく策を出していこうというところが、我々の生涯学習に繋がっていくのではないか、というところで話がまとまりました。

その他ということ、どこにも属していない、何をしゃべってもいいんじゃないか? というところから始まりました。

題目が「学びのインフラ整備」だが、それって本当に市がやることなのかな? というところで、民間も含めてすでにあるものを活用していくというところに舵を切った方がよいのではないだろうか、という話が最初に出てきた。

とはいえ我々廿日市市の集まりという中でどういったことが必要なのか。そもそも生涯学習って何なのか。実際に学校教育でもいろんなことを経験させてもらうが、それは自分たちほぼ全員が関わり経験しているが、生涯学習とか社会教育は、意識しないとそういうものがあるということも気づかれていないところがあるのではないか。

その話の中で、直接経験と間接経験の話が出た。間接経験を意識するために、勉強とか義務教育、そもそもの学習というのが必要なんじゃないか。そういったことをやっていく上では、学校や地域にある公民館をベースにして、これから取り組みを進めていってはどうか。※つづく

その他
(フリー)